

◆「主として知識に関する問題」

特に課題が見られた内容

「手紙を書く」

「手紙の書式で、相手の名前を書く位置などを理解すること」に課題がある。

(書くこと) 設問 2 三

	正答率	無解答率
本 県	50.9%	0.5%
全 国	55.0%	0.4%

「文学的な文章を読む」

「小説において、本文の表現を正確に読み取り、描写から情景を具体的に描くこと」に課題がある。

(読むこと) 設問 3 一

	正答率	無解答率
本 県	67.9%	0.4%
全 国	70.0%	0.3%

指 導 上 の 工 夫

●手紙の書式のもつ意味について考えさせる学習活動の工夫

手紙を書く際の書式（「頭語と結語」「時候の挨拶」など）について指導するだけでなく、その書式が持つ「意味」（敬意を表すなど）も併せて理解させることが大切である。また、相手や目的に応じて書きわけるとも併せて指導したい。

書写や敬語の指導と関連付けて指導することも効果的である。さらに、学校行事や日常生活との関連を図り、「招待状を書く」など実際の目的を持った手紙を書く経験をさせることも大切である。

●文章中の描写を自分の言葉で再構成させる学習活動の工夫

文学的な文章では、情景描写にも文脈の中で特別な意味を持つ場合があることを理解させることが大切である。そのためには、文章中の描写から情景を想像し、さらに文脈の中でその意味を自分の言葉で再構成させる指導の工夫が必要である。

また、情景描写が比喩等の表現技法と深く関わっていることにも着目させ、さらに、自身の表現活動に取り入れさせるなど、活用する学習活動を工夫したい。

◆「主として活用に関する問題」

特に課題が見られた内容

「文学作品を評価しながら読む」

「さまざまな条件の下で、自分の意見を書くこと」に課題がある。

(書くこと・読むこと) 設問 2 三

	正答率	無解答率
本 県	71.8%	11.6%
全 国	74.8%	10.1%

「複数の資料を比較しながら読む」

「複数の資料を比較して、共通点や相違点を整理した上で、自分の考えを述べること」に課題がある。

(書くこと・読むこと) 設問 3 三

	正答率	無解答率
本 県	40.8%	13.8%
全 国	42.6%	12.4%

「複数の資料を比較しながら読む」

「資料の読み比べなどで情報の共通点を見つけること」に課題がある。

(読むこと) 設問 3 二

	正答率	無解答率
本 県	52.1%	11.1%
全 国	53.9%	10.0%

「文学作品を評価しながら読む」

「『蜘蛛の糸』の一部分を朗読する場合の適切な工夫を選択すること」に課題がある。

(読むこと・言語事項) 設問 2 ニアイ

	正答率	無解答率
本 県	66.8%	0.8%
全 国	68.5%	0.6%

指 導 上 の 工 夫

●自分の考えを相手に効果的に伝わるように書く学習活動の工夫

自分の考えが相手に効果的に伝わるように書くためには、根拠を示して説得力をもたせ、筋道を立てて書くことが大切である。その際、作品の内容や構成、表現上の特色を踏まえ、本文を引用するなどして、根拠を客観的に述べる方法等も併せて指導することが必要である。

また、与えられた条件（「本文中の言葉を使って」や字数制限など）に従って、書くことの指導の場を繰り返し設けることも大切である。

●複数の資料を比較し目的に応じて情報を活用する学習活動の工夫

複数の資料を比較して、共通点や相違点を整理した上で、自分の考えを発表させるなど、情報を整理し、目的に応じて活用する力を身に付けさせる必要がある。

ふだんの授業の中でも、教科書教材に関係のある資料を生徒たちに見つけさせるなどの工夫を行いたい。

また、自分の意見や考えに説得力を持たせるためには、中心となる主張を明確にするとともに、具体的な資料を活用して主張の裏付けとなる根拠を明らかにするなどの学習活動が効果的である。

●読み比べすることにより共通点や相違点に気付く学習活動の工夫

資料を読み比べさせることによって、情報の共通点や相違点を見つける学習活動を行うことが大切である。

また、本に関する基本的な情報（例えば、作者、主人公、ストーリー、ジャンル等）を落とさないようにして、本を紹介する活動を行うことが重要である。さらに、あるテーマに関係する多くの本を読んで、それらをつなぎながら紹介するなどの活動を行うことが大切である。

●作品の展開や心情の変化に着目しながら音読や朗読をする学習活動の工夫

文章に描かれている情景や心情の変化の大体をとらえることはできるが、話の展開に留意して読み取ることが不十分である。

文学作品を味わうためには、作品の展開や心情の変化に着目したり、音読や朗読したりする学習を意図的に取り入れていく必要がある。朗読の仕方を工夫する学習では、「どのような読み方をするのか」「なぜそのような工夫が良いのか」という点を明らかにすることが重要である。